

認定こども園みどりがおかようちえん

一人ひとりの感性を育てるために、
感じる・気付く力を養う園庭作りを保護者と一緒に

保育環境づくりのポイント

保育環境研究家の木村歩美先生を招き、指導先の園の環境とそこで遊ぶ子どもの姿を見せて頂きました。園庭で思いっきり感じて・気付いて・発見していく子どもたちが、どんどん自分で考えて動き出し、チャレンジしていく。本園も、**0歳から5歳**までの園児が“感じる・気付く力”を思いっきり育める環境を作ろうと動き出しました。



- 感じる・気付く力
- うごく力
- 考える力
- やりぬく力
- 人とかがわる力

取組み内容

今の子どもたちの姿から色々と意見を出し合い、「外でもままごと遊びのイメージが膨らむように、砂場の近くにお家が欲しい」「体の動かし方を遊びながら身につけられるように、**0～1歳**児も登れる築山が欲しい」とまとめました。職員で**1回**、保護者の方も交えて**1回**の合計**2回** ワークショップを行い、自分たちの手で環境整備を行いました。



先生が“ヴィーン！”と電動のノコギリやドライバーを使って作業していると、子どもたちは興味津々。気付けば中からも外からも子どもたちが見守っていました。



2回目のワークショップは保護者の方と。講師の木村先生のもと、卒園児や地域の方も参加しみんなでワイワイ楽しみながらの作業となりました。



1回目の職員ワークショップでは砂場のお家が完成。「ここ、キッチンみたいね！」と気づき、おままごと。



「この高さなら、とべる！」と気付いてジャンプする子、「ちょっと怖いな」と感じる子。一人ひとりの感性が育っています。



園庭整備をスタートするにあたり宮崎県のこども園にも見学に行き、子どもたちの姿に刺激を受けました。本園も色々な事を感じられる園にしていきたいです。

副主任 花岡 裕